

十二 鑑

発行日 令和 5年 4月 15日 / 第 101号
発行 土沢地域づくり会議 代表 新田繁夫
〒028-0115
花巻市東和町安俵 6 区 53 番地
TEL 0198-42-3255 FAX 0198-42-4234

みんなが集える環境を

土沢地域づくり会議代表 新田 繁夫



うららかな春の日差しが心地よくなってまいりました。新型コロナウイルスの感染も落ち着き傾向にあり、3月13日のマスク着用の解禁や5月の5類移行等で、今まで規模を縮小しながら進めてきた事業が3年前のようにできる可能性が大きくなりました。これで本来のコミュニティ活動が図られる機会が増えてくるものと感じています。

そのためにも今までの事業を見直すとともに多くの皆様が気楽に参加できる事業をもっと多く企画できないものか模索しています。

当会議の最終決算を見るとハード面の占める割合が多くなっておりますが、少しでもソフト面の事業を増やしながらか皆様が気楽に集える機会を作っていけるよう、アイデアを頂きながら実現していきたいと考えています。どうぞ忌憚のないご意見をお願いします。

つど
集ってます。 前郷公民館

土沢地域づくり会議の支援を受け経年劣化で傷んでいた床を張り替え、ストーブも新調し、今日は「元気でまっせ体操日」。陽光が差し込むピカピカのホールで1・2・3。この日は10人が集い、映像に合わせて体をほぐした。集いの時間はあっという間だが、何か心もスッキリ。



元気でまっせ体操でますます生き生き

土沢地区の人口と世帯数

令和5年2月末日現在

行政区	日本人住民						外国人住民			
	世帯数	男	女	計	出生	死亡	世帯数	男	女	計
土沢第1(新地・百ノ沢)	129	173	182	355	0	0	0	0	1	1
土沢第2(鑑町)	141	139	176	315	0	1	0	0	3	3
土沢第3(中町・下町)	150	171	187	358	0	0	9	2	8	10
土沢第4(駅前・上町)	176	178	212	390	0	1	7	7	1	8
土沢第5(前郷・八日市場)	137	179	190	369	0	1	0	1	0	1
土沢第9(六本木)	251	295	336	631	0	1	16	8	8	16
合計	984	1,135	1,283	2,418	0	4	32	18	21	39

※この表は花巻市住民登録人口集計表を参考に作成しています。

コミセンは ここ →

4年前に建てられたのに「コミセン」ってどこ？…との問い合わせが度々あって、この程大きな看板を取り付けました。バッチリです。この頃は、コロナ感染症拡大防止策も大分緩和され、多くの皆さんに利用されています。



遠くからでもハッキリと



慣れた道でも気を付けて…
交通安全啓発用横断幕を設
置／福祉センター前交差点

塗装しました。きれいです。百ノ沢地内のゴミ集積所



「あげた手は いのちをしらせる 警報機」…新入学期、黄色い帽子から目が離せません。交通安全推進モデル地区の指定は解除されましたが、引き続き気を引き締めて、新入学児を見守りましょう。

ふる歴コーナー

コミセン内に併設されている「ふるさと歴史展示室」から東和の歴史を紹介します。
◀展示パネル引用▶

東和の先人

成島和紙再生の立役者

すがき ともじろう
菅木 友次郎



菅木友次郎は、成島和紙の再生に尽力し、地域の活性化に大きな貢献をした人物です。

明治13年（1880）、東和町南成島の菅木家の長男として生まれました。菅木家は代々成島和紙の生産をするとともに、紙商人として活躍した家でした。

当時、南成島では多くの家で紙漉き業を営んでいましたが、機械製紙の西洋紙に押され、衰退が進んでいました。

友次郎は成島和紙の再生を目指し、新しい技術を学んだり、国内の和紙生産地を視察したりし、大正3年（1914）には成島製紙工場を設立します。地元の人々の協力と、第一次世界大戦の影響もあって生産は順調に伸びていき経営は軌道に乗りました。

大正末期から昭和の初めには、東磐井郡（現在の一関市、奥州市、平泉町の一部）の東山和紙の生産が落ち込み、その再建のために友次郎は指導を行っています。それにより東山和紙は立ち直り、成島和紙とともに岩手の二大和紙生産地が確立されました。

和紙生産地成島の再建を果たした友次郎は、昭和14年（1939）60歳で亡くなり、南成島の地に眠っています。（敬称略）